

# 部活動を、『人間形成の場』として取り組んでいきます。

本校バレーボール部では、監督丸村の教育理念である『社会性の習得』のもとに、部活動を人間形成の場として考え、技術だけでなく社会性の習得にも指導の重点をおいています。

高校を卒業して進学もしくは就職するにしても社会の一員として、人と大きく関わって生活をしていかなければなりません。任された役割を果たす責任感、考え方や立場の異なる者同士が互いに心を合わせて問題を解決しようとする協調性、礼儀やマナーなどが身につかなければ社会で通用しないだけでなく、真のチームプレーは難しいと考えています。

だからこそ、高等学校の教育活動を通して社会性の習得をしっかり図っていきたくて考えています。



## 1. 指導理念 指導理念：自己探求力の育成

- 1 自主性を育む指導を行った上で、選手自ら試合の流れを読み判断できる力を身につけるため、自主性を重んじた指導を行なう。
- 2 失敗から学ぶ姿勢を身につけさせるため、練習や練習試合で思い切ったプレーやチャレンジしたプレーで失敗しても責めない。褒めた上で前向きなアドバイスをする。
- 3 出来ないことを責めるのではなく、「出来ないのは当たり前」という考えのもと指導にあたる。
- 4 体罰に頼る指導を行なっても選手は絶対に成長しない。

## 2. 求める選手像 チームの中心は、選手一人一人の心の中にある

真のチームプレーで大会成績上位常連校を目指すため、本校のバレーボール部では以下の選手を求めています。

### ① 素直かつ謙虚であること。

自分の考えが強く、相手の意見を受け入れ難い選手は、バレーボールの技術だけでなく人としての成長も難しく、チーム力の強化も難しいと考えています。

### ② 他を疎かにせず部活動に専念できること。

15年間の指導を通して感じることは、部活動だけを一生懸命しても選手として伸びないこと。だから、高校生として部活動だけに専念するのではなく、勉強などやらなければならないことをきちんとできることが必要と考えています。



## 3. 学習活動の徹底

以下の指導により、中学生のときよりも家庭学習時間が増えた生徒が多く、バレーボール部員は成績上位者が非常に多いです。

- ① 自主勉強ノートを毎日提出させています。
- ② テスト期間中は、全員参加の勉強会を17時50分まで行います。
- ③ 長期休業中の課題を早目に終わらせるように指導しています。

## 4. 学校規則の遵守

- ① 服装等の学校規則を順守する指導をします。
- ② チームの絆を築く指導に重点を置いています。
- ③ 部員の髪型は、ショートカットとします。試合中に髪を気にする必要がないように、右の写真のような髪型に統一します。(平成28年度入学生から徹底)



## 5. 移動方法 学校所有のマイクロバスを利用

試合等の移動には、学校が所有しているマイクロバス（3台）を使用しています。そのため、生徒の交通費の負担は、公共交通機関を利用するよりも非常に安く、保護者の方々からも大変喜ばれています。

